

## 岐阜県経済の現状のポイント（平成 25 年 4 月分）

### 【生産活動】

#### ＜製造業全体＞

○製造業全体では、円安により収益面で改善傾向にあるものの、原材料価格の上昇が始まっている。受注や生産が増加するなど、比較的明るい声が多い。

#### ＜その他機械産業等＞

○生産用機械においては、東南アジアからの受注が増加するなど海外での引き合いが増え始めている。

#### ＜直近の円安の動き＞

○輸出が増加する一方で、原材料価格の上昇により製造コストを押し上げているが、販売価格への転嫁が難しく利益を圧迫し始めている。

#### ＜地場産業＞

○刃物及び木工で明るい声も聞こえたが、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

### 【設備投資】

○設備関係では、海外受注の減少幅が拡大し、4 四半期連続で前年の水準を下回り、減少幅も拡大している。

企業の設備投資意欲も改善する兆しがみえているが、補修・更新といったやむを得ない投資が依然として約半数を占めている。

○住宅投資関係は、持家の住宅着工が好調で、7 ヶ月連続で対前年を上回っている。

○工事関係では、24 年度内に実施された公共工事請負額は過去最低を更新。一方で大型補正による公共工事を期待し業界の雰囲気は明るい。

### 【消費・観光】

○消費については、衣料品は比較的暖かい日が多かったことから、春物と初夏物の売れ行きが好調。食料品は店舗によりバラツキはあるものの、全体としては順調に推移。

○観光面では、総じて前年の水準を概ね確保しており、GW 中も 5 / 3 ~ 4 を中心に大半の施設が満室となっている。インバウンドはアジアを中心に幅広い国籍で回復の動きが続く。

### 【資金繰り・倒産】

○県内企業の資金繰りは低調な状況が続いている。また、設備投資資金をはじめ、企業の新規借入意欲は依然として弱く、経費節減に努めて借金返済に注力する企業や、条件変更

によって資金繰りの改善を図る企業が大半である。

- 3 月の県内倒産件数は 15 件と、前年同月から 3 件減少、前月から 7 件の増加となった。  
負債総額は 11 億 8100 万円となり、3 月単月では過去 20 年間で 2 番目に少なかった。

## 【雇用】

### ＜求人・求職動向＞

- 受注量の増加から、残業や非正規の雇用が発生している。正社員の雇用については専門職や即戦力の人材を求めているが、採用に苦慮している企業が多い。

### ＜新卒者の就職動向＞

- 昨年度卒業予定の大学生においては、改善傾向にあり、求人数、内定率ともに概ね前年度を上回っている。
- 昨年度卒業した高校生については、前年度を上回る求人が出ているハローワークが多く、内定率も前年を若干上回っている。